

(整理番号) 025	提案機関名 一般社団法人神奈川県畜産会
要望問題名 新たなワクモ対策薬剤の効果的かつ経済的な使用方法の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 新しいワクモ対策薬剤について、気候や県内飼養環境条件下での効果について、たいへん高価な薬剤であることから、薬剤濃度を中心により効果的な使用方法を検討してもらいたい。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 新たなワクモ駆除剤はフルララネルを有効成分とし、鶏への飲水投与により血液中のフルララネルをワクモが吸血することにより駆除する薬剤が発売されました。鶏卵中への薬剤の移行は、用法用量に従って投与し、20日間、毎日鶏卵中のフルララネル濃度を測定した結果では、3日目までは検出限界値(0.4ppm)以下で、その後徐々に増加し、14日目に最高値の0.828ppmとなり、以降は減少し、20日目には検出限界値以下となります。本剤の鶏卵への残留基準値は1ppmですので、用法用量に従ってご使用下さい。			
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			
内閣府 食品安全委員会 食品安全総合情報システム 「フルララネル」評価結果の要約 添付ファイル <a href="https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20180418022">https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20180418022</a>			